

汎用的教育コンテンツ利用実績紹介フォーム

1.利用情報

教育機関名	清泉女学院大学
学部・学科名	人間学部 心理コミュニケーション学科
コース名・講座名等	情報科学Ⅱ
対象学年・受講者数	2 年次 20 名 (講座等の履修登録者数を記載してください)
講座実施期間	2014年 9月 ~ 2015年 1月
利用コンテンツ名 (該当□をプルダウンで■にしてください)	<input type="checkbox"/> プロジェクト型システム開発チーム演習教育コンテンツ
	<input type="checkbox"/> パーソナルスキル(ロジカルシンキング)養成教育コンテンツ
	<input type="checkbox"/> ソフトウェア開発技法実践的演習教育コンテンツ
	<input checked="" type="checkbox"/> 情報セキュリティ実践的教育コンテンツ
	<input type="checkbox"/> 「要求工学を活用した問題発見と情報システムによる解決」実践的教育コンテンツ
コンテンツの利用形態 (該当□をプルダウンで■にし、必要事項をご記入ください)	1.利用したコンテンツ
	<input type="checkbox"/> ①シラバス <input type="checkbox"/> ⑥テスト問題と解答例
	<input checked="" type="checkbox"/> ②講義スライド <input type="checkbox"/> ⑦ティーチングガイド
	<input type="checkbox"/> ③講義ノート <input type="checkbox"/> ⑧受講レポート
	<input checked="" type="checkbox"/> ④演習課題 <input type="checkbox"/> ⑨ソースコード
	<input type="checkbox"/> ⑤各種設計書
	2.コンテンツの利用方法について
	<input type="checkbox"/> 1.教育コンテンツ全てをそのまま利用
	<input type="checkbox"/> 2.教育コンテンツの一部をそのまま利用 (利用範囲)
	<input checked="" type="checkbox"/> 3.教育コンテンツを改変して利用 (改変範囲) 第1回の講義用スライドを一部省略して利用。第15回チーム演習の演習と回答例を一部改変して利用。

講座の全体構成(シラバス) ※単元ごとの学習項目、講義形態、コンテンツ利用の有無を記す			
	単元と時間配分(1コマ= 90 分で実施)	プルダウンで該当項目を選択してください	
	*短期集中講座の場合は、日単位で結構です	講義形態 (座学、個人演習、チーム演習)	単元ごとのコンテンツ利用の有無
1	ガイダンス ネットワーク社会と生活環境の変化	座学	有
2	情報化社会の現状とインターネットの影響	個人演習	有
3	「私」と「あなた」がつながる仕組み	座学	無
4	テレビが変わっていく もっと愉快になる	座学	無
5	あなたの読書が変わる！	座学	無
6	知的財産権	チーム演習	無
7	超高速！ 金融システム	座学	無
8	自動車事故がなくなる日	座学	無
9	IT×教育の最前線！	座学	無
10	情報セキュリティにおけるリスク アセスメントとリスク対応	チーム演習	有
11	人の命を助ける情報技術	座学	無
12	「クラウド」の進化の先	座学	無
13	情報はどこまで守られる？	座学	無
14	これから何が流行するのか？	座学	無
15	ICT最新技術とその利用シーンのコンセプト創造演習	チーム演習	無
特記事項			

コンテンツ利用の狙い・目的	情報化社会を網羅的に学習するとともに、情報セキュリティに関する知識と意識を高めることを目的とした。
講座の位置づけ 学生の履修前提条件	前提として、ITパスポートのテクノロジー分野を対象とした講義「情報科学 I」を履修済みであることとしている。本科目は、情報技術の最新動向を理解した上で、ITパスポートのテクノロジー分野の補強を行う位置づけである。
授業の進め方	座学は、アジェンダを学生に配布し、プロジェクタに投影したPowerPointでの説明と映像による講義形式をとった。 教材としては、『頭のいい人が変えた10の世界 NHK ITホワイトボックス』NHK「ITホワイトボックス」プロジェクト 編集(講談社)の内容をメインに、ITホワイトボックスのDVDやIPAの「映像で知る情報セキュリティ」ビデオを利用した。 演習では、グループ演習の際に模造紙、ポストイットを利用した。

2. 講座実施後の情報

受講者の感想 (本講座で得られたもの)	映像の利用やグループ演習を取り入れることについては評価された。しかし、文系の学生に対して技術的な内容を盛り込みすぎたため、単語レベルで消化不良であるという反応が見受けられた。
教員の評価	「情報セキュリティ実践的教育コンテンツ」で利用した部分については、情報セキュリティの必要性、脅威などに対する意識付けの役に立ち良かった。 対象が技術系の学生ではないためコンテンツの一部を利用させていただいたが、1回分の資料のボリュームが多かった。 例えば第1回については、スライドとして投影した場合の1枚あたりの情報量が多いため、ビデオなどと組み合わせて講義する場合にはボリュームが多すぎてしまった。1ページ当たりの情報量の少ないバージョンのスライドがあるとうれしい。
今後の展望 (継続に向けた課題)	次年度も講座継続であり、コンテンツも継続して利用させていただきたい。もう少し、文系学生を意識したコンテンツがあるとありがたい。

その他(ご意見等)	ITパスポートに向けたコンテンツがあるとありがたい。特に社会経験の無い学生が対象内容を理解するためには、演習や映像等を通じた実践の場を設ける必要があると思うが現在はそのようなコンテンツが存在しないため、苦勞している。
-----------	--